

第1号議案 令和2年度 事業報告の件

令和2年度の各部の事業について以下のとおり実施したことを報告する

企 画 部

1. 諸会議の運営事務

*新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業内容の変更

- | | | | |
|--------------|------|------------------|--------------|
| (1) 総会 | | 令和2年 5月 23日 (土) | 書面議決で行う |
| (2) 法人理事会 | 第1回 | 令和2年 5月 9日 (土) | 書面議決で行う |
| | 第2回 | 令和2年 11月 28日 (土) | リモートによる会議開催 |
| | 第3回 | 令和3年 2月 19日 (金) | リモートによる会議開催 |
| (3) 運営委員会 | 第1回 | 令和2年 5月 23日 (土) | 中止 |
| | 第2回 | 令和2年 11月 13日 (金) | 中止 |
| (4) 支部理事会 | 第1回 | 令和2年 5月 23日 (土) | 中止 |
| | 第2回 | 令和2年 8月 18日 (火) | 中止 |
| | 第3回 | 令和3年 2月 20日 (土) | リモートによる会議開催 |
| 支部長会 | | 令和2年 8月 23日 (日) | リモートによる会議開催 |
| (5) 研究会 | 第1回 | 令和2年 5月 23日 (土) | 中止 |
| | 第2回 | 令和3年 2月 20日 (土) | リモートによる研究会開催 |
| (6) 事務局会・部長会 | | | |
| | 事務局会 | 令和2年 4月 14日 (火) | 中止 |
| | | 令和2年 5月 12日 (火) | 中止 |
| | 部長会 | 令和2年 6月 9日 (火) | 事務局にて開催 |
| | 事務局会 | 令和2年 7月 14日 (火) | 中止 |
| | | 令和2年 9月 8日 (火) | 中止 |
| | 部長会 | 令和2年 10月 13日 (火) | リモートによる会議開催 |
| | 事務局会 | 令和2年 11月 10日 (火) | 中止 |
| | | 令和2年 12月 8日 (火) | リモートによる会議開催 |
| | 部長会 | 令和3年 1月 12日 (火) | リモートによる会議開催 |
| | 事務局会 | 令和3年 2月 9日 (火) | リモートによる会議開催 |
| | 部長会 | 令和3年 3月 9日 (火) | 中止 |

2. 研究大会・教育経営研修会・ワクワクプロジェクト研修会・オンライン研修会

- | | | | |
|-------------------------|----------------------|-------------------------|---|
| (1) 第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会 | | 令和2年 8月 18日 (火)・19日 (水) | |
| | | | *新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、令和3年 8月 18日 (水) に延期 |
| (2) 第41回全幼研教育経営研修会 (愛知) | | 令和2年 11月 14日 (土) | |
| | | | *新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、誌上開催 (全会員へ資料送付) |
| (3) 全幼研ワクワクプロジェクト研修会 | | 令和2年 6月～令和3年 2月 | |
| | | | *秋田・茨城・東京・岐阜・三重・滋賀の6支部で乳幼児教育に関する研修会を開催 |
| (4) オンライン研修会 | | | |
| 期日 | 第1回… | 令和2年 11月 21日 (土) | 第2回…令和3年 1月 27日 (日) |
| 講師 | 本会専務理事 (お茶の水女子大学 教授) | 宮里暁美氏 | |
| 参加 | 第1回 | 参加人数 100名 | |
| | 第2回 | 参加人数 86名 | |

3. 第14回教員免許状更新講習（研究大会に併設）

令和2年8月18日（火）・19日（水）・20日（木）

*新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、中止

令和3年度は兵庫大会が1日開催のため、教員免許状更新講習は中止とする

4. 研究助成制度

(1) 研究奨励…該当なし

(2) 研究助成…研究助成金：5万円 助成件数：2件

①申請者：東洋経済大学 教授 カレイラ松崎順子氏（東京）

研究テーマ：「英語で折り紙」

②申請者：小田原短期大学 特任教授 早川礎子氏（千葉）

研究テーマ：「日本の五色と韓国の五方色の生活色彩の中に見る玩具」

5. 諸事業の企画・検討

(1) キャリアアップ研修…受講証明書発行

(2) 第70回全国幼児教育研究大会東京大会（創立70周年記念事業）の企画等

会場：東京国際フォーラム・国立オリンピック記念青少年総合センター

期日：令和4年8月2日（火）・3日（水）

※免許更新講習 令和4年8月1日（月）～3日（水）

(3) 全国幼児教育研究協会創立70周年記念事業の企画等

創立70周年記念DVDの企画・作成

「子どもたちの耀く未来のために」（仮題・約52分）

(4) 倫理審査委員会…研究助成2件、文部科学省委託研究事業2件

(5) その他、諸事業の運営補助、資料の作成等

研 修 部

1. 第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会

(1) 期 日 令和2年8月18日（火）・19日（水）

(2) 開催地 兵庫県神戸市 神戸国際会議場 他

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、令和3年8月18日（水）に延期

2. 第41回全幼研教育経営研修会（愛知） ⇒ 誌上開催

(1) 期 日 令和2年11月14日（土）

(2) 内 容 研究主題 「地球の未来を共につくろう

—幼児教育・保育の可能性を拓ける園経営—

提案 2事例（埼玉・京都）

論説「魅力的で信頼される園づくりとカリキュラム・マネジメント」

國學院大學 教授 神長美津子氏

*全会員へ送付する

(3) 会員にアンケートを送付 回収

3. 第14回免許状更新講習

*兵庫大会が1日開催となったため、免許状更新講習は中止とする

4. 研究会

- (1) 期 日 令和3年2月20日(土) リモート開催
- (2) 講 演 「持続可能な社会の創り手の育成と幼児教育への期待」
- (3) 講 師 文部科学省初等中等教育局幼児教育課 課長 大杉 住子 氏

5. テーマ検討委員会

研究大会・教育経営研修会の研究主題・分科会テーマ・内容、協議の観点などについて検討し、役員部長会・事務局会に提案

(1) 第41回全幼研教育経営研修会(神奈川)のテーマ検討

- ①期 日 令和3年11月20日(土)
- ②開催地 神奈川：神奈川県横浜市 神奈川県民ホール・小ホール
- ③内 容 研究主題 「AIの時代をたくましく、人間らしく生きるために
－これからの教育を保護者・地域と共に考え、実践していく園経営－」
講師 和洋女子大学 教授 矢藤誠慈郎氏

(2) 第70回全国幼児教育研究大会東京大会のテーマ・分科会案の提案、検討

- ①期 日 令和4年8月2日(火)・3日(水)
- ②開催地 東京：東京国際フォーラム・国立オリンピック記念青少年総合センター
- ③内 容 テーマ「AIの時代をたくましく、人間らしく生きるために
－自己肯定感をもち、遊びや生活を創り出す力を育てる－」
- ④その他 ・分科会テーマ・内容、協議の観点など検討し、役員会、部長会等に提案
・第14回免許状更新講習は令和4年8月1日(月)～3日(水)に行う

調査研究部

1. 調査研究の推進

令和2年度文部科学省委託研究の推進

①「特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実に関する調査研究」

研究テーマ 幼稚園における外国人幼児等の受入れに関する

研修ガイドブック・研修DVDの作成

②「幼稚園における学校評価に関する調査研究」

研究テーマ 「実効性のある学校評価の実施に向けて

－幼児教育の質向上につなげる学校評価ガイドブックの作成－」

2. 研究紀要69号の企画・編集・発行

*3,500部発行及び配布

(1) 調査研究報告(令和元年度文部科学省委託研究の成果物より要約)

特集 「新幼稚園教育要領の実施状況の把握と理解推進の方策」

- ・全国の幼稚園において、新幼稚園教育要領(以下、「新要領」と記す)の内容を自園の教育課程等に位置付け、保育の質がどのように向上しているか、教師の指導や幼児の育ちがどのように変わったか、実施上の困難点等について、全国の1,000園の国公私立幼稚

園等の管理職及び学級担任に質問紙調査を実施し、分析・考察を行った。また、研究協力園への訪問調査を行い、新要領の理解と実施に向けての取組について、聞き取り、各園の工夫や課題を整理した。

- ・調査の結果から、各園における積極的な対応を捉えられたが、保育の振り返りや評価に当たり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」への注目度が高く、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用する意義や方法を再確認する必要があることが分かった。それらの課題に対応し、新要領の理解推進の具体的方策として、組織的・計画的な園内研修の充実、カリキュラム・マネジメントと関連付けた学校評価の実施等を提言している。

(2) 支部研究情報 各支部の研究テーマ等の集約

広 報 部

1. 「若竹」79号発行

- (1) 発行時期 令和2年8月
- (2) 部 数 A4版カラー 4,000部
- (3) 配 布 第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会が延期となったため、会員、その他関係者に本部事務局から各支部長宛に送付
- (4) 内 容
 - ・特別座談会 「未来に耀く子供たちのために」
オリンピックメダリスト・長野県教育委員 荻原健司氏
福井直美理事長・荒木尚子副理事長
 - ・ズームイン 令和2年度 総会（書面議決）報告
ごあいさつ
文部科学省初等中等教育局幼児教育課長 井上睦子氏
文部科学省初等中等教育局幼児教育課
幼児教育調査官 小久保篤子氏
 - ・遊びのヒントあれこれ 「体を動かす遊び」
大阪市立幼稚園教育研究会 第4ブロック研究部
 - ・大会予告 第41回全幼研教育経営研修会（愛知）誌上開催 予告
第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会 予告
第42回全幼研教育経営研修会（神奈川） 予告
第70回全国幼児教育研究大会東京大会 予告
 - ・その他

2. 「若竹」80号発行

- (1) 発行時期 令和3年2月
- (2) 部 数 A4版カラー 4,000部
- (3) 配 布 支部理事会がリモート開催となったため、会員、関係者に本部事務局から各支部長に送付し、支部長より配布

- (4) 内 容
- ・ 論説1 「今こそ考えたい、幼児教育で大切なこと」
聖徳大学 教授 河合 優子 氏
 - ・ 論説2 「新型コロナウイルス感染拡大と幼児期の運動遊び」
十文字学園女子大学 教授 鈴木 康弘 氏
 - ・ 大会報告 全幼研オンライン研修会報告
第41回全幼研教育経営研修会（愛知）誌上開催報告
 - ・ 支部だより 東北地区 秋田支部
 - ・ 大会予告 第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会 予告
第42回全幼研教育経営研修会（神奈川） 予告
第70回全国幼児教育研究大会東京大会 予告
 - ・ その他

3. ホームページ

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じている武蔵野第一・第二幼稚園の実践を掲載
- ・ 定期的に部員で内容を見直すことはできず、事務局から専門機関（田中マネジメントシステム）に更新を依頼

4. その他

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により、大幅に内容を変更した
- ・ 若竹79号から印刷業者を変更（日本印刷→同胞援護会事務局）

第2号議案 令和2年度 収支決算報告・監査報告の件

定款39条に基づき、令和2年度収支決算について、以下のとおり報告する。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,641,386	1,816,558	824,828
未収金	1,808,403	4,996,247	△ 3,187,844
流動資産合計	4,449,789	6,812,805	△ 2,363,016
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(基)	14,000,000	14,000,000	0
定額貯金(基)	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	19,000,000	19,000,000	0
(2)特定資産			
周年事業引当資産(特)	2,000,000	1,800,000	200,000
特定資産合計	2,000,000	1,800,000	200,000
(3)その他固定資産			
什器備品	100,603	201,205	△ 100,602
保証金	800,000	800,000	0
その他固定資産合計	900,603	1,001,205	△ 100,602
固定資産合計	21,900,603	21,801,205	99,398
資産合計	26,350,392	28,614,010	△ 2,263,618
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	78,992	76,244	2,748
流動負債合計	78,992	76,244	2,748
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	78,992	76,244	2,748
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	14,000,000	14,000,000	0
指定正味財産合計	14,000,000	14,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(14,000,000)	(14,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	12,271,400	14,537,766	△ 2,266,366
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,000,000)	(1,800,000)	(200,000)
正味財産合計	26,271,400	28,537,766	△ 2,266,366
負債及び正味財産合計	26,350,392	28,614,010	△ 2,263,618

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	993	990	3
② 特定資産運用益	0	0	0
③ 受取会費	10,036,000	11,222,000	△ 1,186,000
④ 事業収益	500,000	16,075,262	△ 15,575,262
⑤ 受取寄附金	25,000	245,000	△ 220,000
⑥ 雑収益	18,404	231,312	△ 212,908
経常収益計	10,580,397	27,774,564	△ 17,194,167
(2) 経常費用			
① 事業費	8,797,661	23,361,465	△ 14,563,804
給料手当	1,844,409	2,708,900	△ 864,491
臨時雇賃金	0	158,966	△ 158,966
法定福利費	271,854	262,727	9,127
旅費交通費	248,495	4,032,166	△ 3,783,671
通信運搬費	1,390,578	1,927,662	△ 537,084
減価償却費	65,392	130,783	△ 65,391
消耗品費	380,656	2,074,832	△ 1,694,176
修繕費	0	0	0
印刷製本費	1,957,381	3,649,635	△ 1,692,254
光熱水料費	76,901	84,826	△ 7,925
賃借料	1,190,650	4,055,235	△ 2,864,585
保険料	0	24,444	△ 24,444
諸謝金	402,740	2,104,497	△ 1,701,757
租税公課	0	0	0
支払助成金	100,000	150,000	△ 50,000
渉外費	2,160	289,244	△ 287,084
会議費	0	560,250	△ 560,250
支払手数料	866,445	1,147,298	△ 280,853
② 管理費	4,049,102	5,098,662	△ 1,049,560
役員報酬	660,000	640,000	20,000
給料手当	993,143	1,232,000	△ 238,857

法定福利費	146,382	141,467	4,915
会議費	1,770	176,466	△ 174,696
渉外費	0	1,890	△ 1,890
旅費交通費	307,629	809,170	△ 501,541
通信運搬費	725,779	786,650	△ 60,871
減価償却費	35,210	70,421	△ 35,211
消耗品費	111,001	101,906	9,095
修繕費	0	0	0
印刷製本費	38,915	37,199	1,716
光熱水料費	41,407	45,675	△ 4,268
賃借料	525,525	574,465	△ 48,940
保険料	0	0	0
諸謝金	0	24,500	△ 24,500
租税公課	0	600	△ 600
支払手数料	462,341	456,253	6,088
経常費用計	12,846,763	28,460,127	△ 15,613,364
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,266,366	△ 685,563	△ 1,580,803
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,266,366	△ 685,563	△ 1,580,803
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,266,366	△ 685,563	△ 1,580,803
一般正味財産期首残高	14,537,766	15,223,329	△ 685,563
一般正味財産期末残高	12,271,400	14,537,766	△ 2,266,366
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	14,000,000	14,000,000	0
指定正味財産期末残高	14,000,000	14,000,000	0
III 正味財産期末残高	26,271,400	28,537,766	△ 2,266,366

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、平成20年4月1日以後に取得したものについては定率法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基)	19,000,000	0	0	19,000,000
小計	19,000,000	0	0	19,000,000
特定資産				
周年事業引当資産(特)	1,800,000	200,000	0	2,000,000
小計	1,800,000	200,000	0	2,000,000
合計	20,800,000	200,000	0	21,000,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金(基)	19,000,000	14,000,000	5,000,000	—
小計	19,000,000	14,000,000	5,000,000	—
特定資産				
周年事業引当資産(特)	2,000,000	0	2,000,000	0
小計	2,000,000	0	2,000,000	0
合計	21,000,000	14,000,000	7,000,000	0

5. 担保に供している資産

該当なし。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	550,429	449,826	100,603

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

8. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

9. 重要な後発事象

該当なし。

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(基)	19,000,000	0	0	19,000,000
	基本財産計	19,000,000	0	0	19,000,000
特定資産	周年事業引当資産(特)	1,800,000	200,000	0	2,000,000
	特定資産計	1,800,000	200,000	0	2,000,000
その他固定資産	什器備品	201,205	0	100,602	100,603
	その他固定資産計	201,205	0	100,602	100,603

財 産 目 録

令和 3 年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸 借 対 照 表 科 目		場 所 ・ 物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	21,000
	普通預金	みずほ銀行 虎ノ門支店	運転資金として	1,658,913
	普通貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	807,000
	定期預金	みずほ銀行 虎ノ門支店	運転資金として	154,473
	未収金	文部科学省	委託事業未収金	1,808,403
流動資産合計				4,449,789
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金(基)	みずほ銀行 虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	14,000,000
	定額貯金(基)	ゆうちょ銀行	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	5,000,000
特定資産				
	周年事業引当資産(特)	みずほ銀行 虎ノ門支店	周年事業のための特定費用準備資金として毎年定額を積み立てている。	2,000,000
その他固定資産				
	什器備品	事務局PC2台		100,603
	保証金	事務所保証金		800,000
固定資産合計				21,900,603
資産合計				26,350,392
(流動負債)				
	預り金	従業員に対するもの	源泉所得税・特別徴収住民税	78,992
流動負債合計				78,992
固定負債合計				0
負債合計				78,992
正味財産				26,271,400

第3号議案 令和3年度 事業計画の件

令和3年度の各部の事業について以下のとおり実施する。

企 画 部

1. 諸会議の運営事務

(1) 総会		令和3年 5月22日(土)	リモートによる会議
(2) 法人理事会	第1回	令和3年 5月 8日(土)	リモートによる会議
	第2回	令和3年 11月27日(土)	大妻女子大学研修室(予定)
	第3回	令和4年 2月25日(金)	大妻女子大学研修室(予定)
(3) 運営委員会	第1回	令和3年 5月22日(土)	中止
	第2回	令和3年 11月19日(金)	神奈川県・横浜市
(4) 支部理事会	第1回	令和3年 5月22日(土)	リモートによる会議
	第2回	令和3年 8月18日(水)	資料のみ配付
	第3回	令和4年 2月26日(土)	大妻女子大学研修室(予定)
(5) 研究会	第1回	令和3年 5月22日(土)	リモートによる会議
	第2回	令和4年 2月26日(土)	大妻女子大学講義室(予定)
(6) 事務局会・部長会			
	事務局会	令和3年 4月13日(火)	リモートによる会議
		令和3年 5月11日(火)	リモートによる会議
	部長会	令和3年 6月 8日(火)	リモートによる会議
	事務局会	令和3年 7月13日(火)	大妻女子大学講義室(予定)
		令和3年 9月14日(火)	大妻女子大学講義室(予定)
	部長会	令和3年 10月12日(火)	事務局
	事務局会	令和3年 11月 9日(火)	大妻女子大学講義室(予定)
		令和3年 12月14日(火)	大妻女子大学講義室(予定)
	部長会	令和4年 1月11日(火)	事務局
	事務局会	令和4年 2月 8日(火)	大妻女子大学講義室(予定)
	部長会	令和4年 3月 8日(火)	事務局

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更の場合があります。

2. 研究大会・教育経営研修会・ワクワクプロジェクト研修会・オンライン研修会

- (1) 第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会
令和3年8月18日(水)
会場：神戸国際会議場 神戸商工会議所会館 他
- (2) 第42回全幼研教育経営研修会(神奈川)
令和3年11月20日(土)
会場：神奈川県民ホール・小ホール
- (3) 全幼研ワクワクプロジェクト研修会
令和3年度は中止
- (4) オンライン研修会
令和3年9月下旬頃と令和4年1月下旬頃の2回を予定
詳しくは、ホームページや支部長を通してお知らせします

3. 研究助成制度

幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、本会の理念をご理解いただいた幼児教育関係者個人・団体で、幼児教育に関する研究に対し、審査の上研究助成を行う

(1) 研究奨励

研究奨励金：10万円 助成件数・・・ 1件

期 間：令和3年4月～令和4年3月

募 集：令和3年4月～令和3年6月末

報 告：令和3年度研究紀要71号にて報告

(2) 研究助成

研究助成金：5万円 助成件数・・・ 2件

期 間：令和3年4月～令和4年3月

募 集：令和3年4月～令和3年6月末

報 告：A4用紙1枚程度の報告書提出

4. 諸事業の企画・検討

(1) キャリアアップ研修…受講証明書発行

(2) 第70回全国幼児教育研究大会東京大会（創立70周年記念事業）の企画等

会場：東京国際フォーラム・国立オリンピック記念青少年総合センター

期日：令和4年8月2日（火）・3日（水）

※免許更新講習 8月1日（月）～3日（水）

(3) 令和4年度 全国幼児教育研究協会創立70周年記念事業の企画等

創立70周年記念DVDの企画・作成

(4) 倫理審査委員会…研究助成・文部科学省委託研究事業

(5) その他、諸事業の運営補助、資料の作成等

研 修 部

1. 第69回全国幼児教育研究大会兵庫大会

(1) 期 日 令和3年8月18日(水)

(2) 開催地 兵庫県神戸市

(3) 内 容

ア. 大会主題 「地球の未来を共につくろう

—今、幼児期に育てたいこと—

イ. 分科会 第1分科会 スポーツの楽しさや面白さを感じる心と体

第2分科会 社会に開かれた教育課程—地域の文化に親しむ—

第3分科会 バリアフリーの心でコミュニケーション

第4分科会 自然を慈しみ、自然を大切に作る心

第5分科会 環境に関わり、遊びを創り出す力

第6分科会 ワークショップ「心豊かな表現をめざして

阪神・淡路大震災から26年—しあわせ運べるように—

ウ. 全体会 講 話 「幼児教育の現状と課題」

講 演 「さきがけの女性たちの足跡に咲いた花」

(4) 参加費 会 員 4,000円 会員外 7,000円 学生会員 1,000円

(5) 申し込み受付人数 約 500 名

(6) その他 ・一日開催のため、 午前…分科会 午後…全体会

・公開保育は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、誌上にて公開

・幼稚園教諭等のキャリアアップ研修に対応する

・免許状更新講習会は中止とする

2. 第 42 回全幼研教育経営研修会(神奈川)

(1) 期 日 令和 3 年 11 月 20 日 (土)

(2) 開催地 神奈川県横浜市

(3) 内 容

ア. 研修会主題 「AI の時代をたくましく、人間らしく生きるために

—これからの教育を保護者・地域と共に考え、実践していく園経営—」

イ. 全体会 開会式・提案・協議・講演

(4) 参加費 会員 4,000 円 会員外 7,000 円

(5) 参加者数 未定

3. 研究会

第 1 回 (1) 期 日 令和 3 年 5 月 22 日 (土) リモート開催

(2) 講 演 「幼児教育の現状と課題」(仮)

(3) 講 師 文部科学省初等中等教育局幼児教育課 課長 大杉 住子 氏

第 2 回 (1) 期 日 令和 4 年 2 月 26 日 (土)

(2) 講 演 未定

(3) 講 師 未定

4. テーマ検討委員会について

研究大会・経営研修会の研究主題・分科会テーマ・内容・協議の観点、司会・提案支部一覧などについて検討し、役員部長会・事務局会に提案する。

(1) 令和 4 年度 第 43 回 教育経営研修会 (埼玉) 研究主題

(2) 令和 5 年度 第 71 回 研究大会 京都大会 研究主題

調査研究部

1. 調査研究の推進

令和 3 年度文部科学省委託研究への申請予定

特別な配慮を必要とする幼児への指導の充実に関する調査研究 (2 年次)

—幼稚園における外国人幼児等の受入れに関する研修ガイドブック・研修 DVD 等の作成—

2. 研究紀要 70 号の企画・編集・発行

* 3,500 部発行 第 69 回全国幼児教育研究大会兵庫大会で配布

(1) 調査研究報告 (令和 2 年度文部科学省委託研究の成果物より要約)

特集 「幼稚園における学校評価に関する調査研究」

「実効性のある学校評価の実施に向けて

—幼児教育の質向上につなげる学校評価ガイドブックの作成—

- ・ 幼児教育の質向上に向けて、実効性のある学校評価の実施が求められており、その実現に向けた具体的な方法を示す学校評価のガイドブックの作成を目的に研究を進めた。
- ・ 研究方法として、学校評価等実施状況調査（平成 26 年度間）の結果や幼稚園教育を所管する教育委員会ホームページや作成された資料、及び全国 54 園（内 3 園訪問調査）の国公立幼稚園にインタビュー調査を行い、幼稚園における学校評価の現状と課題を分析・考察した。
- ・ その結果から、①学校評価の目的・意義の共通理解の必要性 ②学校評価に関する用語について理解推進の必要性 ③日々の教育活動の振り返りを学校評価に位置付ける必要性 ④学校評価の目的と園運営に関する研修の重要性とリーダーの育成の必要性 ⑤学校関係者評価の成果と活用例の周知の必要性等が捉えられた。
- ・ 以上のことから実効性のある学校評価を推進していくため、幼稚園における学校評価の意義や目的、具体的な学校評価の進め方や用語等について具体的に分かりやすく解説した「幼児教育の質向上につなげる学校評価ガイドブック」を作成した。

(2) 支部研究情報 各支部の研究テーマ等の集約

3. 令和 2 年度の委託研究の成果発表について

令和 2 年度文部科学省委託「幼児教育の教育課題に対応した指導方法等充実調査研究(幼稚園における学校評価に関する調査研究)」報告書「実効性のある学校評価の実施に向けて－幼児教育の質向上につなげる学校評価ガイドブックの作成－」について、オンライン研修会等の方法で成果を発表する。

広 報 部

1. 「若竹」81 号発行

- | | | | |
|----------|---|----------------------------|----------|
| (1) 発行時期 | 令和 3 年 8 月 | | |
| (2) 部 数 | A 4 版カラー 4,000 部 (予定) | | |
| (3) 配 布 | ・ 第 69 回全国幼児教育研究大会兵庫大会で配布。大会不参加の会員、その他関係者には本部事務局から各支部長宛に送付後、会員・関係者に配付予定 | | |
| (3) 内 容 | ・ 論説 | これからの幼児教育について (仮)
執筆者未定 | |
| | ・ ズームイン | 令和 3 年度 | 総会・研究会報告 |
| | ・ 遊びのヒントあれこれ | コロナ禍の遊びの工夫 (仮) | |
| | ・ 大会予告 | 第 42 回全幼研教育経営研修会 (神奈川) | 予告 |
| | | 第 70 回全国幼児教育研究大会東京大会 | 予告 |
| | | 第 43 回全幼研教育経営研修会 (埼玉) | 予告 |

2. 「若竹」82 号発行

- | | | | |
|----------|--|--|--|
| (1) 発行時期 | 令和 4 年 2 月 | | |
| (2) 部 数 | A 4 版カラー 4,000 部 (予定) | | |
| (3) 配 布 | 支部理事会参加者に配布。会員、関係者には本部事務局から各支部長宛に送付後、会員・関係者に配布予定 | | |

- (4) 内 容
- ・論説 タイトル、執筆者未定
 - ・大会報告 第 69 回全国幼児教育研究大会兵庫大会 報告
 - 第 42 回全幼研教育経営研修会（神奈川） 報告
 - ・支部だより 東海・北陸地区に依頼予定
 - ・大会予告、その他

3. ホームページ

- ・定期的に部員で内容を見直し、事務局を通して専門機関に更新を依頼する

4. その他

- ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、大会等に変更があった場合は、若竹の内容も変更することがあります

第4号議案 令和3年度 収支予算の件

定款38条の規定に基づき、令和3年度収支予算について、以下のとおりとする。

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科 目	当年度予算(A)	前年度予算(B)	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,000	1,000	0
預金利息等	1,000	1,000	0
② 特定資産運用益	0	0	0
預金利息等	0	0	0
③ 受取会費	10,160,000	9,820,000	340,000
個人	6,000,000	5,924,000	76,000
団体	3,360,000	3,296,000	64,000
法人	800,000	600,000	200,000
④ 事業収益	3,460,000	500,000	2,960,000
参加費収益	9,030,000	500,000	8,530,000
協賛金収益	0	0	0
⑤ 受取寄附金	0	0	0
⑥ 雑収益	0	0	0
印税等	0	0	0
銀行預金等	0	0	0
経常収益計	13,621,000	10,321,000	3,300,000
(2) 経常費用			0
① 事業費	13,714,000	8,676,000	5,038,000
給料手当	2,634,000	2,213,000	421,000
臨時雇賃金	80,000	0	80,000
法定福利費	234,000	231,000	3,000
旅費交通費	1,350,000	240,000	1,110,000
通信運搬費	783,000	1,390,000	△ 607,000
減価償却費	0	0	0
消耗品費	911,000	433,000	478,000
修繕費	33,000	0	33,000
印刷製本費	2,620,000	1,580,000	1,040,000
光熱水料費	91,000	75,000	16,000
会議費	130,000	0	130,000
賃借料	2,810,000	1,116,000	1,694,000
渉外費	100,000	6,000	94,000
諸謝金	748,000	362,000	386,000
支払手数料	990,000	930,000	60,000
支払助成金	200,000	100,000	100,000
雑費	0	0	0
② 管理費	4,272,000	4,148,600	123,400
役員報酬	720,000	700,000	20,000
給料手当	1,418,000	1,200,000	218,000
法定福利費	126,000	125,000	1,000
会議費	70,000	11,800	58,200
法人理事会費	40,000	10,000	30,000
運営委員会費	0	0	0
事務局会費	30,000	1,800	28,200
旅費交通費	339,000	124,800	214,200
法人理事会	90,000	0	90,000
監事監査費	0	0	0
運営委員会費	0	0	0
事務局会費	115,000	1,800	113,200
通勤交通費	134,000	123,000	11,000
通信運搬費	330,000	782,000	△ 452,000
減価償却費	0	0	0
消耗品費	119,000	138,000	△ 19,000
修繕費	18,000	0	18,000
印刷製本費	56,000	41,000	15,000
光熱水料費	49,000	41,000	8,000
賃借料	575,000	486,000	89,000
渉外費	4,000	2,000	2,000
諸謝金	18,000	0	18,000

支払手数料	475,000	497,000	△ 22,000
雑費	0	0	0
経常費用計	17,986,000	12,824,600	5,161,400
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,365,000	△ 2,503,600	△ 1,861,400
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,365,000	△ 2,503,600	△ 1,861,400
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,365,000	△ 2,503,600	△ 1,861,400
一般正味財産期首残高	9,548,109	10,223,329	△ 675,220
一般正味財産期末残高	5,183,109	9,548,109	△ 4,365,000
II 指定正味財産増減の部			0
一般正味財産への振替額	0	△ 5,000,000	5,000,000
当期指定正味財産増減額	0	5,000,000	△ 5,000,000
指定正味財産期首残高	19,000,000	14,000,000	5,000,000
指定正味財産期末残高	19,000,000	19,000,000	0
III 正味財産期末残高	24,183,109	28,548,109	△ 4,365,000